

証発 第5号
平成20年10月30日

証券会社
担保取扱責任者 殿

中部証券金融株式会社
営業部 証券課

貸借代用担保に係る確認テストについて

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、(株)証券保管振替機構（以下、「保振機構」といいます。）より、平成20年8月8日付で「株式等振替制度対応に係る業務確認テスト（運用・自由）手順書（全面稼働編）」が公表されましたが、今般、当社は、同業務確認テスト第8回（11月15日、11月16日）の実施日に合わせ、下記のとおり、貸借代用担保異動申込、担保突合および特別株主申出簡略化に係る確認テストを行うことといたしましたのでご案内申し上げます。

なお、本テストは、自由テストの一環であり、保振機構のシナリオに沿ったものではありませんことを念のため申し添えます。

敬具

記

1. 担保異動申込確認テスト（振替実施日11月15日 業務日付8月22日）

貸借代用担保の異動申込とその振替の確認を行います。異動申込として11月7日（金）までに別添の電子化後の伝票に必要事項を記入のうえ、FAXにてご送信ください。

振替に使用する銘柄は貴社が当日、残高をお持ちの任意の銘柄とします。保振機構が定めたテスト銘柄を振替に使用されても結構です。担保返戻を行われる場合は当日差入分の一部返戻としてください。振替する銘柄は入庫2件、出庫2件を上限とさせていただきます。

テスト当日、担保異動申込銘柄の振替が完了していることを保振機構端末でご確認ください。

なお、当社への担保異動申込は電子化後も現行と同様に伝票で行うこととなりますので大変恐縮ではございますが、ご理解とご協力の程をよろしくお願いいたします。

【担保異動例】

業務日付8月22日	貴社担保差入	トヨタ自動車	10,000株
業務日付8月22日	貴社担保返戻	トヨタ自動車	5,000株
業務日付8月22日の代用担保残高 トヨタ自動車 5,000株 下記2.で突合および報告			

【伝票の記入方法】

- ・日付は平成20年8月22日とご記入ください
- ・今回、押印は不要です。
- ・機構加入者コードと委託先機構加入者コードが同じ場合は委託先機構加入者コードの記入は不要です。
- ・伝票番号欄は空欄で結構です。
- ・詳細は別添の記入例をご参照ください。

2. 担保突合および特別株主申出簡略化に係るテスト（実施日11月16日 業務日付8月25日）

上記1.で発生させたデータを基に担保突合および特別株主申出簡略化に係る確認テストを行います。当社からは業務日付8月22日の他のデータの送信は行いません。

当社は担保受入データおよび特別株主管理事務委託状況報告データを、業務日付8月22日に貴社からの振替で発生した残高を対象として、業務日付8月25日に保振機構へ送信いたします。（上記1.の例ではトヨタ自動車 5,000株）

貴社におかれましては業務日付8月22日の振替で発生させた残高を対象として、業務日付8月25日に保振機構へ担保差入データをご送信ください。（上記1.の例ではトヨタ自動車 5,000株）

なお、電子化移行後の特別株主申出簡略化に係る委託状況報告については、当社オンラインにて把握しております貴社の累積の残高を当社から保振機構へデータ送信いたします。貴社におかれましては保振機構へ担保差入データをご送信ください。

3. 貴社がご使用になる区分口座

上記1.および2.で使用する区分口座は、平成20年6月30日付証発 第1号「株券電子化後の担保の取り扱い等について」に基づきお届けいただいた「振替株式等受払口座指定書」に記載の口座といたします。

当該届出を再度ご確認くださいとともに、変更のある場合はお早めのご連絡をお願いいたします。

4. テスト参加申込み

11月7日（金）までに別添のテスト参加申込書と伝票に必要事項を記入のうえ、FAXにてご送信ください。

以上

< 本件に関するお問合せ先 >

営業部証券課 福原・大崎

電話 052-251-1318 FAX 052-251-8986 E-mail syoken2@chusyokin.co.jp

中部証券金融株式会社
営業部 証券課 御中

提出日 平成 年 月 日
参加者名
担当者名
(電話番号)

テスト参加申込書

当社は11月15日、11月16日に行われる貸借代用担保に係る確認テストに下記のとおり参加いたします。

記

1. 担保異動申込確認テスト(担保差入および返戻申込とその振替)
【実施日11月15日(業務日付8月22日)】
(A) テストに参加する
(B) テストに参加しない
2. 担保突合および特別株主申出簡略化に係る確認テスト(ご参加の場合は、上記1.の参加および11/16の担保差入データ送信が必須となります。)
【実施日11月16日(業務日付8月25日)】
(A) テストに参加する
(B) テストに参加しない

以上

上記1.および2.の該当する項目を で囲んで下さい。
本テストに不参加の場合は送付の必要はございません。

【本申告書の送付先】(FAXにて送付下さい)

中部証券金融株式会社 営業部 証券課(担当: 福原・大崎)
電話 052-251-1318 FAX 052-251-8986

貸借取引貸借担保金代用有価証券差入書

印 紙
不 要

	口数	数	量	伝票番号	備	考
株 券	□			自		
債 券	□			至		

(正)

会員コード

後記貸借取引貸借担保金代用有価証券差入書内訳票記載の有価証券を貸借取引貸借担保金代用有価証券として貴社に差し入れます。

中部証券金融株式会社 御中

平成 年 月 日

中証金欄	証券課	課長	初鑑

証券会社名

代表者

印

入			出		
1	2	3	4	5	6
1	0	1			

貸借取引貸借担保金 代用有価証券 差入書内訳票

平成 年 月 日

No. _____

会員記号コード

機構加入者コード		委託先機構加入者コード			
銘柄コード	回記号コード	固有名コード	銘柄名	数 量	千円 株

中証金欄	証券課	課長	初鑑

自己・顧客
(○で囲む)

中部証券金融株式会社

貸借取引貸借担保金代用有価証券返還請求書

(正)

	口数	数	量	伝票番号	備考
株券	□			自	
債券	□			至	

会員コード

現在貸借取引貸借担保金代用有価証券として差し入れ中の後記貸借取引貸借担保金代用有価証券返還請求書内訳票記載の有価証券の返還を請求します。

中部証券金融株式会社 御中

平成 年 月 日

中証金欄	証券課	課長	初鑑

証券会社名
代表者

印

入			出		
1	2	3	4	5	6
			1	0	1

貸借取引貸借担保金 代用有価証券 返還請求書内訳書

(差入日 平成 年 月 日)

No

会員記号コード

機構加入者コード		委託先機構加入者コード			
銘柄コード	回記号コード	固有記号コード	銘柄名	数量	千四 券

中証金欄	証券課	課長	初鑑

自己・顧客
(○で囲む)

中部証券金融株式会社

記入例

貸借取引貸借担保金代用有価証券差入書

印
紙
不
要

	口数	数	量	伝票番号	備考
株券	1		10,000	自	
債券				至	

(正)

会員コード

後記貸借取引貸借担保金代用有価証券差入書内訳票記載の有価証券を貸借取引貸借担保金代用有価証券として貴社に差し入れます。

中部証券金融株式会社 御中

平成 20 年 8 月 22 日

中 証 金 欄	証 券 課	課長	初鑑

証券会社名
代表者

貴社名

不要
印

入			出		
1	2	3	4	5	6
1	0	1			

貸借取引貸借担保金
代用有価証券
差入書内訳票

機構加入者コードと
相違の場合のみ記入

貴社コード

平成 20 年 8 月 22 日

No.

会員記号コード

機構加入者コード			委託先機構加入者コード		
銘柄 コード	回記号コード	固有名コード	銘柄名		数量
		7203	トヨタ自動車		

中 証 金 欄	証 券 課	課長	初鑑

自己・顧客
(○で囲む)

中部証券金融株式会社

記入例

貸借取引貸借担保金代用有価証券返還請求書

	口数	数量	伝票番号	備考
株券	1	5000	自	
債券			至	

(正)

会員コード

現在貸借取引貸借担保金代用有価証券として差し入れ中の後記貸借取引貸借担保金代用有価証券返還請求書内訳票記載の有価証券の返還を請求します。

中部証券金融株式会社 御中

平成 20 年 8 月 22 日

中証金欄	証券課	課長	初鑑

証券会社名
代表者

貴社名

不要
印

入			出		
1	2	3	4	5	6
			1	0	1

貸借取引貸借担保金
代用有価証券
返還請求書内訳書

機構加入者コードと
相違の場合のみ記入

貴社コード (差入日 平成 20 年 8 月 22 日)

No.

会員記号コード

機構加入者コード	委託先機構加入者コード	回数コード	固有名コード	銘柄名	数量
			7203	トヨタ自動車	5000

中証金欄	証券課	課長	初鑑

自己顧客
(○で囲む)

中部証券金融株式会社